

2018

5

May
No. 302

広報

みしま

Mishima Town Public Relations

春満開

大林ふるさとの山

春の例祭「観音様祭り」

文・写真 佐々木邦雄さん（松原）

4月16日、松原地区の観音本堂において「観音様祭り」を行いました。早朝6時より、会員の皆様の参加で観音菩薩ののぼり旗を揚げ、本堂の飾り付けと境内を清掃しました。午後1時より、会員12名の出席により本堂内において例祭が始まりました。観音様は世間の人々の救いを求める声を聞くと、直ちに救済して下さる求道者で、大変慈悲深い方であるとの事です。

また、日常生活の安泰や五穀豊穡、安産などを祈願し、感謝のご詠歌を歌いました。直会には、役員2名の心のこもった手料理が振る舞われ、お茶を飲みながら地区の繁栄と健康長寿に感謝しながら、楽しいひとときを過ごしました。



春日神社 春の例大祭

文・写真 佐々木邦雄さん（松原）



4月12日、松原地区の春の例大祭が、春日神社本殿において厳粛に執り行われました。

早朝6時より、4名の神社役員により、本殿内と参道の清掃を実施し、春日神社ののぼり旗を揚げ、神々を迎える準備をしました。11時30分より、青木基重宮司を迎え、役員と氏子11名が参列し厳粛に執り行われました。神社総代長の阿部通利さんと、氏子代表の阿部政彦さんが玉串を捧げ、今年の五穀豊穡と地区の安全を祈願しました。

終了後は、その場において直会を行い、参加された皆さんが親睦を深め楽しいひとときを過ごしました。

滝原地区春季総会を開催

文・写真 佐久間絹江さん（滝原）

滝原林業集会センターにて、平成29年度の事業報告、収支決算（納税組合、分館、駒形神社、除雪機管理等）が承認され、平成30年度事業計画、予算案が可決されました。総会後は2年間の役職の労をねぎらい、新役員の活躍を願いながら、一献かたむけながら親睦を深めていました。



一年の無火災・平穏無事を願う

文・写真 小島純さん（宮下）



4月11日、宮下地区の三島神社に於いて、毎年恒例の「無火災祈願祭」が厳かに執り行われました。町、町消防団、神社総代、町内事業所の代表が参加、青木基重宮司が神事を執り行い、それぞれの代表が神前に玉串を捧げ、今年一年の無火災、家内安全を祈願しました。



完成披露式でのテープカット



内部を見学する内堀知事

早戸温泉つるの湯 湯治棟完成
棟が3月に完成し、4月18日に完成披露式が行われました。新しい湯治棟は、全8室、定員35名で、これまでの湯治スタイルを継承した自炊型の宿泊施設です。1階の客室はキッチンが完備され、2階には共同の調理室を設けています。洋室の床や客室の座卓、テーブルセットには三島町産会津桐を活用し、その他にも地場産の木材をふんだんに活用しています。建設にあたっては、県の新編「歳時記の郷・奥会津」活性化事業の補助を受けており、総事業費は約2億8,500万円。そのうち約5割が県からの補助金です。完成披露式の1週間前の4月11日には内堀雅雄福島県知事も来訪し、新しい湯治棟を見学しました。



交流人口のさらなる拡大を目指す
早戸温泉つるの湯 湯治棟完成

景色と調和した和風建築

移動も楽しく & エコロジー 観光客の新しい移動手段として期待

4月9日から「からんころん」で電動レンタサイクルのサービス開始

三島町再エネPR事業で電動機付自転車10台導入

町では再生可能エネルギーの普及を目指すことを目的に、町観光交流館「からんころん」にソーラーパネルによる発電と、その電気を利用して充電する電動機付自転車を導入し、4月9日から、主に町内を訪れた観光客向けに貸出しを始めました。これは、福島県エネルギー地産地消モデル事業（再エネ利活用PR事業）を活用したもので、再生可能エネルギーの普及と併せて、インバウンドを含めた観光客の二次交通対策として実施したものです。町では電動機付自転車の導入により、移動範囲を広げ、観光客に町内全体を周遊してもらうことを期待しています。町観光協会がレンタル事業を運営し、自転車は全部で10台。料金は4時間まで500円、4時間を超えると一日当たり1,000円で貸出します。



電動機付自転車に乗る板橋健也観光協会長と矢澤源成町長



宮下地区の総会行われる

文・写真 小島純さん（宮下）

宮下地区総会が3月25日、宮下活性化センターで行われました。目黒政寿区長のあいさつの後、議長選出、議案の審議に入り、案件が全て承認されました。平成30年度の新区長には近藤勇彦氏が承認され、旧新区長のあいさつの後、近藤新区長より、目黒政寿前区長に感謝状が手渡されました。その後、懇親会が行われ、30年度の宮下地区の発展を願いながら、地区住民同士親睦を深めました。



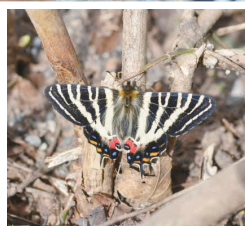
三島小のギフチョウ羽化観察会

文・写真 角田伊一さん（川井）



4月16日三島小学校で総合学習の時間を利用して、全学年で日本特産の美しい蝶ギフチョウの羽化観察会を行いました。この日は曇り日で気温も低かったので、羽化の様子は見れないのかなと心配しておりましたが、朝早くからストーブを燃やして室温を高め、羽化観察用のセットを準備して小学生の来訪を待っていました。

午前10時30分観察会開始とほぼ同時位に5年生のテーブルから歓声が上がりました。真っ黒いサナギの殻を割ってギフチョウが誕生し、植木鉢にさして置いた雑木の小枝に自力で這い上り、羽を伸ばし始めたのです。続いて3年生からも声上がり、全学年のテーブルで羽化が始まりました。この日は黒、黄、赤、藍、橙5色の色を持った美しいギフチョウが30匹も誕生しました。後日全校児童からお礼と羽化観察の感想をまとめたお手紙が届けられました。



雨の中のふるさとセンター冬囲い撤去作業

文・写真 本名与四郎さん（西方）

4月9日、西方ふるさとセンターの冬囲い撤去作業と麻生方面に向かう国道400号線脇のガードレール取り付け作業が行われました。

朝から雨が降りしきる悪天候となったものの、北館区長や委員6名でスムーズに冬囲い撤去作業を実施し、けが・事故なく終了することができました。



地区住民によるカタクリ整備作業

文・写真 本名与四郎さん（西方）



4月22日、大林ふるさとの山のカタクリ整備作業が行われました。作業当日は朝から天候に恵まれ、北館区長の挨拶が終わると、早速整備作業に取りかかりました。

カタクリを傷つけないように遊歩道の両サイドに細いひも（ロープ）を張ったり、進行方向を示す看板を立てました。

今年は積雪が多かったにもかかわらず、暖かい日が続いたため、雪解けが早まり、桜とカタクリの開花が1週間以上早まりました。「カタクリ・さくらまつり」は、4月26日から30日までの開催ですが、毎年、カタクリとさくらのコラボレーションを楽しみにしている来客者が、整備作業中も多数訪れていました。



つるの湯の湯治棟が完成

文・写真 橋本光五郎さん（早戸）



早戸地区と滝原地区の早戸温泉つるの湯温泉企業組合関係者では、新しく完成した、つるの湯湯治棟リニューアルオープンに向けて、備品の運び込みなど、準備を進めてきました。11日には内堀雅雄福島県知事も見学に訪れ、18日は町主催で早戸交流拠点施設湯治棟完成披露式が執り行われました。

披露式当日は、あいにくの雨となりましたが、多くの来賓や工事関係者、早戸温泉つるの湯温泉企業組合関係者の出席のもと、テープカットによりリニューアルオープンを祝い、披露式を終えることができました。

式の挨拶の中で、矢澤源成町長をはじめ来賓の方々も、この施設の完成で只見川流域の活性化が図られることへの期待を述べられていましたが、地域住民としても新しい湯治棟の完成で、早戸地区、三島町がより元気になっていくことを期待したいと思います。

式の後、出席者の方々の施設見学が行われ、19日には一般の方々を対象とした内覧会が開催され、普段からつるの湯を利用されている地区の方々などが見学に訪れました。



早戸で花見の会を開催

文・写真 橋本光五郎さん（早戸）

4月22日、早戸地区での花見の会が開催されました。例年は4月の末に開催していましたが、今年は各地で桜の開花が早まっていることを踏まえ、早戸生活改善センター周辺の桜の開花も早まることを予測して、開催を1週間前倒しにして22日に開催したものです。

当日は予測通り生活改善センター周辺の桜は満開となり、また天気にも恵まれ絶好の花見日和となりました。仕事などで都合のつかない方もいらっしゃいましたが17名が参加し、佐久間源一郎氏の乾杯の音頭で今年の花見の会がスタート。そして用意された花見弁当を食べ、お酒も飲みながらいろいろな話をして楽しいひと時を過ごすことができました。五十嵐登美雄区長からは、また夏頃に集まる機会を作りたいとの話があり、出席者の方々もまた楽しく集まる機会ができることを期待しながら今年の花見の会は散会となりました。



早戸地区 大山祇神社、温泉神社で春祭

文・写真 橋本光五郎さん（早戸）



4月13日、早戸地区の大山祇神社、温泉神社において春祭が執り行われました。当日は両神社とも鳥居のしめ縄を新しくかけ直し、青木基重宮司の祝詞奏上の後、地区の代表者が玉串を捧げ、今年一年の地区内の安全、地区住民の家内安全、温泉の安全、そして豊作を祈りました。



高清水・小山両地区の花見会

文・写真 菅家敏一さん（高清水）

4月29日、総勢30人以上の方々が参加した恒例の花見会は、今年の開花の早さ（速さ）には驚きで、葉桜の花見会となりました。長かった冬と雪からの解放もあり、温かな季節を迎え、参加した方々は相互に元気そうな顔を確認し、楽しい団らの時間となりました。



『三島町史』資料編「近世」を発刊しました

現在編さん事業を行っている『三島町史』の第一冊目となる資料編「近世」を発刊しました。

江戸時代、郷頭や名主であった滝谷・山ノ内家文書、桑原・河越卿家文書、大谷・二瓶八郎家文書を中心に、慶長二（一五九七）年の山論（山を巡る争い）から戊辰戦争までの主要文書595点を厳選して掲載、全資料に解説がついています。教育委員会、交流センター山びこにおいて頒布を行っています、ぜひ一度手に取ってご覧ください。

【体裁】規格 A5判
装丁 布クロスビニール・箱入り
頁数 約1400ページ

【頒布価格】
町民 4,200円
町民外 6,000円



町史編さん室だより

旧家
十郎右衛門（前略）大登・桑原・河井（川井）三村を領す。（中略・現在の金山町横田の山内氏勝と共に伊達政宗と戦ったことが記述）氏勝漂泊ノ後、綱孝仕官ヲ求（メ、抜けか）ス、家ニ終ル、綱孝力嫡孫、十郎左衛門綱泰ト云者村長

館跡 村中ニアリ、周二町計、天正中マテ山内氏ノ臣渡部長門綱孝ト云者住ス。此村ノ名主十郎右衛門ト云者、彼力子孫ナリトテ今館迹ニ住ス、又村西ノ菜圃ニ馬場的場ノ字残レリ。

古蹟
巻之八十一の大登村には、古蹟旧家の項目に渡部長門綱孝のことが次のように記してあります。

文化六（一八〇九）年編さんの『新編会津風土記』
大登の地勢を見ると、街道の要所である砂子原（現柳津町）へ向かう峠の入り口にあたり、また湧水地のひとつであったことから、渡部家が拠を構えたのかもしれませんが。江戸時代が終わると渡部家では湧水を利用し酒造業を営みます。

大登の地勢を見ると、街道の要所である砂子原（現柳津町）へ向かう峠の入り口にあたり、また湧水地のひとつであったことから、渡部家が拠を構えたのかもしれませんが。江戸時代が終わると渡部家では湧水を利用し酒造業を営みます。

江戸時代の大登村



町史編さん室だより 第28回

交流センター山びこ ☎ (52) 2165

『三島町史』（昭和四十三年刊行）では、大登村について、戦国時代の天正十一（一五八三）年に布沢（現只見町）から渡部長門綱孝が大登に移り住み、西海館（渡部氏屋敷地）を築いたとしています。

「荒屋敷遺跡出土品」見学バスツアーを開催

～東京国立博物館～「新指定国宝・重要文化財展」

東京国立博物館では毎年「新指定国宝・重要文化財展」として、その年に指定される国宝・重要文化財が展示されます。（本年の期間は4月17日～5月6日）

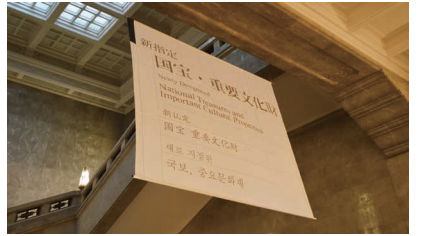
平成30年3月9日、「荒屋敷遺跡出土品」のうち589点が国の重要文化財に指定されることを受けて、同出土品が期間中展示されました。

教育委員会では上記企画展を見学するバスツアーを企画し、4月24日、招待者を含め町民24名が参加しました。

参加者は「荒屋敷遺跡出土品」をはじめ、日本全国から東京国立博物館に集められた新指定の国宝・重要文化財を見学。今回の指定に係る調査担当者である、文化庁の原田昌幸氏から、重要文化財に指定された荒屋敷遺跡出土品の希少な価値について解説していただきました。



東京国立博物館



「新指定国宝・文化財展」のタペストリー



土器・土製品、木器・木製品、漆塗製品など589点中40点が展示された。



荒屋敷遺跡出土品を見学する参加者

図書のご案内

●今月のおすすめ

『火定（かじょう）』
著者：澤田 瞳子



平安時代、天然痘の大流行により都は大混乱に陥る。病の蔓延を食い止めようと奮闘する医師たちと、混乱に乗じ人々を惑わす者たち。人間の光と闇を描いた第158回直木賞候補作。

○利用時間 月～金 午前9時～午後9時 土・日・祝 午前9時～午後5時

●新着本●

題 名	著 者
危険なビーナス	東 野 圭 吾
A I vs 教科書が読めない子どもたち	新 井 紀 子
ほどよく距離を置きなさい	湯 川 久 子
崩れる脳を抱きしめて	知 念 実 希 人
百貨の魔法	村 山 早 紀
ラプラスの魔女	東 野 圭 吾
いのち	瀬 戸 内 寂 聴

問 公民館 ☎ (48) 5599

トナリ、九代相続テ今ニ至ルト云。
※句読点、（ ）内は筆者による
このように、戦国時代が終わる天正十八（一五九〇）年以後、渡部長門綱孝は武士を辞め帰農し、大登村の長になったとしています。渡部本家はこの長門（祖先）供養碑を墓地内に建立しています。三島町内の集落では、かつて山内氏の家臣であった家が戦国時代（中世）の終焉とともに帰農し、村長として江戸時代に郷頭や名主を務める、という事例がみられます。
村の様子については、享保十七（一七三二）年の『御手鑑 大登村』に畑二十五町三反八畝四歩、田四町四畝十一歩、家三十三軒、竈数（世帯数）四十一、人数百六十八人、馬十六疋、漆木九百八十三本（漆九盃八合三勺、蠟四十二貫二百六十九匁）雑木立林一ヶ所、産業として格による紙漉、野尻郷より伊南伊北へ通塩駄賃取り、女は太布・夏こかい（養蚕）などと記されています。
江戸時代の早くから畑に桑を植え、養蚕を行っていることがうかがえます。そして明治以降は養蚕が盛んになり、また麻を育て太布も織っていました。格も植え、紙漉も行なっています（紙漉はかつて西方等只見川左岸が盛んでした）。そして漆木をたくさん植えています。漆（木の実）から蠟を取り、少し樹液も採取しています。馬による塩や米の輸送も重要な駄賃取り（仕事）でした。
このほか宝暦五（一七五五）年の『大登村差出帳』では、畑において陸稻、麻、格を栽培し、大豆・小豆・ささげ・黍・大麦・小麦・粟も栽培していることがわかります。果樹としては、大登において今もある柿の木について記されています。
文 三島町史編さん専門委員 菅家博昭さん



会津坂下警察署からののお知らせ

なりすまし詐欺の被害状況をお知らせします

福島県会津坂下警察署生活安全係
☎ 0242 (83) 3451

なりすまし詐欺が大幅に増加



平成30年3月末の被害状況(県内)

被害件数 40件(前年比+16件)
被害総額 4,963万円(前年比+535万円)
(内訳)
オレオレ詐欺 16件 1,380万円(前年比+11件、+630万円)
架空請求詐欺 14件 2,169万円(前年比+5件、-792万円)
融資保証金詐欺 5件 596万円(前年比+1件、+310万円)
還付金詐欺 3件 649万円(前年比-3件、+218万円)



被害の特徴

- ①オレオレ詐欺の件数は、前年同期の3倍以上になっています。
〈主な手口〉
 - ・息子などをかたり「株で失敗した。」「トラブルに巻き込まれた。」→現金を交付
 - ・警察官かたり「あなたのカードが不正に利用されている。」→キャッシュカードを手渡し
- ②架空請求メール、架空請求はがきが県内全域で多発しています。

悪質商法の被害にあわないためのポイント
～キーワードは、「悪質業者は、う・そ・つ・き!」～

- うまい話を信用しない!
うまい話、絶対もうかる話には、必ず大きな落とし穴…
- そうだんする!
ひとりで判断せず、家族・知人・相談機関に相談を
- つられて返事をしない!すぐに契約しない!
悪質業者は、言葉巧みにすぐに契約をするようにせまってきます
- きっぱり!はっきり!断る!
あいまいな返事をせず、キッパリ!ハッキリ!断る!

街頭犯罪発生件数(平成30年4月30日)

区 分	管 内	三島町
空 き 巣	1	
忍 込 み	1	
事 務 所 荒 し	1	
自 動 車 盗	1	
自 転 車 盗	2	
自 販 機 ね ら い	7	
車 上 ね ら い	4	
部 品 ね ら い	2	
街 頭 犯 罪 合 計	19	0
全 刑 法 犯	40	1

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。※上記発生件数は、平成30年1月1日からの累計数となっています。

福島県警察官募集のお知らせ

1 警察官 A (大学卒)

受付期間 平成30年5月11日(金)から6月8日(金)まで
受験資格 昭和60年4月2日以降に生まれた方で、大学を卒業した方
または平成31年3月末日までに大学を卒業する見込みの方

2 警察官 B (高校卒)

受付期間 平成30年7月20日(金)から8月17日(金)
受験資格 昭和60年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた方

会津坂下警察署警務係 ☎ 0242 (83) 3451



愛ばんしょ外来のお知らせ

宮下病院では、毎週木曜日「在宅療養生活支援外来(愛ばんしょ外来)」を行っています。

- ①病気や障がいを抱えて家で生活する方や、家族からの介護や生活についての相談窓口
- ②地域に住む方々の健康維持・増進、介護・疾病予防のための支援
- ③地域に住む方々が気軽に立ち寄れる交流場所の提供などを目的に、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフが皆様の在宅生活のためのお手伝いをさせていただきます。

※相談コーナーでは、例えば……
「健康のことを考えたいけど、何をすればいいのかわからない」「介護のコツを知りたい」「話し相手が欲しい」など、健康、介護、医療に関することについてご相談をお受けします。



「みしま健康ポイント」の対象です!

＜各コーナーの開催時間のお知らせ＞

相談コーナー 午前9～12時、午後1時～午後4時
健康教室 午前11時～午前11時30分
住民交流事業 午前10時～午前11時
宮下病院外来待合室で行います。

月 日	内 容
5月17日Ⓢ	・相談コーナー ・健康教室「ノドをきたえよう」(講師:管理栄養士)
5月24日Ⓢ	・相談コーナー ・健康教室「お口の乾燥に注意～あいうべ体操～」(講師:看護師)
5月31日Ⓢ	・相談コーナー ・健康教室「介護保険の申請方法」(講師:看護師)
6月7日Ⓢ	・相談コーナー ・健康教室「介護保険の申請方法」(講師:看護師)

※健康教室の内容は、変更になる場合があります。

費用は無料です。また、参加すると「みしま健康ポイント」が貯まります。どなたでもご利用可能ですので、お気軽にお越しください!(予約不要です) 職員一同、心よりお待ちしております!

会津宮下病院 ☎ (52) 2321



消防署からののお知らせ

山火事・事故等に注意しましょう!

平成30年 全国山火事予防統一標語
『小さな火 大きな森を 破壊する』

火事と救急は119番
三島町消防団
会津坂下消防署三島出張所
電 話 52-3032 F A X 52-3033

◆山火事や事故を防ぐために、次のことに注意しましょう。

- ・たばこのポイ捨てはせず、決められた場所で喫煙し、携帯灰皿を持参すること。
- ・火気を使用する場合は、周囲の可燃物の状況に十分注意するとともに消火用の水等を必ず用意すること。
- ・山火事が発生したら速やかに通報し避難すること。消火しようとして亡くなる方もいます。
- ・入山する際はあらかじめ行き先、ルートを確認し、家族に行き先を伝えておくこと。
- ・天気予報に気を配り、防寒対策を徹底すること。無理な入山は控えましょう!

春先は枯草が地上に積もり下草も枯れているうえ、降水量も少なく空気が乾燥し季節風が吹くなど、林野火災が発生しやすい気象条件になっています。山火事は一度発生するとその消火は容易ではなく、一瞬にして貴重な森林を焼失するとともに、その回復には長い年月と多くの労力を要することとなります。とりわけ、これから暖かくなるにつれ、山に入る機会も多くなりますが、特に、空気が乾いている日や風が強い日には火の取扱いには十分な注意が必要です。一人でも多くの方に山火事予防運動について御理解をいただき、山火事の未然防止に御協力よろしく申し上げます。

火災が発生した場合や発見した際には、無理して消火しようとせず速やかに119番通報して下さい。

お詫びと訂正

広報みしま4月号8ページ「地区座談会報告」中段で記載した「ハシノハシ」は「アイパワーフォレスト」の誤りで、町補助金を活用した団体として3件とお答えしたものです。

なお、町総合戦略期間中に増加した町内の事業者は4件と把握しています。お詫びして訂正いたします。

7月開講の職業訓練及び見学会のご案内

ものづくり分野で早期に再就職を目指す求職者の方々を対象に6カ月の職業訓練を実施するとともに、事業主のご要望にお応えした短期の在職者訓練等を実施しています。

また、「職業訓練」について皆様の理解を深めていただくため、施設見学会を毎週設けています。

○訓練生募集

(建築CADリフォーム技術コース)

・募集期間

平成30年5月21日(月)～6月18日(月)

・定員…15名

・訓練期間

平成30年7月3日(火)～12月27日(木)

・対象者…公共職業安定所に求職登録されている方で、職業訓練の受講が望ましいと判断された方

・受講料…無料

・選考日

平成30年6月20日(水) 午前9時～

○訓練生募集

(短期デジタル訓練)

機械ものづくりコース

(CAD・NCコース)

・募集期間

平成30年5月21日(月)～6月18日(月)

・定員…6名

・訓練期間

平成30年7月3日(火)～平成31年1月31日(木)

・対象者…公共職業安定所に求職登録されている方で、職業訓練の受講が望ましいと判断された方

・受講料…無料

・選考日

平成30年6月20日(水) 午前9時～

○施設見学会

・開催日時(13時30分～15時45分)

平成30年5月7日(火)、14日(火)、21日(火)、28日(火)

・内容…今までのキャリア(職業能力)にプラスして、新たな技能習得のための職業訓練について理解していただく説明会。施設見学会当日、希望される方は訓練体験も受けられます。

問 ポリテクセンター会津 訓練課

TEL 0242(26) 0520

FAX 0242(26) 0520



テクドリ



ぼりた

第39回青少年国際交流キャンプ参加者募集

富士山麓のキャンプ場で、全国から集まる青少年が野外活動を通して友情を深め、様々な体験を通して仲間と協力し助け合う楽しさを学びましょう。

○期間…7月31日(火)～8月4日(土)(4泊5日)

○場所…静岡県立朝霧野外活動センター

○定員…日本人80人、外国人20人

○対象…小学3年生～中学3年生

○内容…富士登山、テント生活体験、野外炊飯体験、キャンプファイヤー等

○締切…7月5日(木)

○参加費…福島駅発 小学生 69000円

中学生 78000円

問 (公財) 国際青少年研修協会

TEL 03(6417) 9721

町からお知らせ

5月分納税のご案内

【納期限 5月31日】

▼固定資産税(第1期)

▼国民健康保険税(第1期)

▼介護保険料(普通徴収)(第1期)忘れずに納付ください。

問 町民課町民係

TEL (48) 5555

社会福祉協議会より

サロンのご案内

▼桧原はつづクラブ

5月14日(月) 10時～ 桧原集会所

▼滝谷和楽塾

5月14日(月) 13時30分～ 滝谷集会所

▼サロンないり

5月16日(水) 10時～ 名入集会所

▼心配ごと相談

5月17日(木) 9時30分～11時30分 福寿草

▼川井友愛サロン

5月17日(木) 10時～ 川井集会所

▼ひまわりサロン

5月22日(火) 10時～ 町民センター

問 社会福祉協議会 TEL (52) 3344

町の人口と世帯

4月1日現在

人口	1,656	-16	出生	2
男	816	-7	死亡	4
女	840	-9	転入	2
世帯	778	-8	転出	16

③住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

産業建設課 産業係

本名宰

ほんな おさむ 26歳 昭和村出身



はじめまして。4月から産業建設課産業係に配属になりました。本名宰です。主に農業に関係する業務を担当させていただきます。出身は昭和村ですが、三島町には小さいころからよく遊びに来ていました。思い出深い三島町をもっと盛り上げていけるよう、頑張っていきます。現在は松原地区に住んでいますので、三島町の良いところをたくさん見つけていきたいと思っています。よろしくお願います。

▼趣味Ⅱスノーボード、読書

▼今年の目標Ⅱ仕事を覚える

生涯学習課 生涯学習係

志田雅史

しだ まさし 26歳 宮下



4月から生涯学習課生涯学習係に配属になりました。志田雅史です。主に社会体育に関する業務を担当しています。宮下で生まれ育ったので、私のことをご存知の方もいらっしゃるかもしれません。町内のイベントなどで、町民の皆さんとお会いすることを楽しみにしています。まだまだ至らない点が多々ありますが、日々邁進してまいりますのでよろしくお願います。

▼趣味Ⅱ運動、映画鑑賞、お酒を飲むこと

▼今年の目標Ⅱ市町村対抗野球で勝つ！

三島保育所

舟木和恵

ふなき かずえ 24歳 宮下



はじめまして、舟木和恵です。出身は古殿町で、三島町に来て4年になります。保育所では年少を担当しています。元気いっぱいの子どもたちに囲まれ、たくさんパワーをもらっています。これから、子どもたちといっぱい笑って遊んで、成長を見守りながら過ごす毎日が楽しみです。かわいい笑顔に癒されながら、子どもたちと一緒に成長していきたいと思っています。よろしくお願います。

▼趣味Ⅱプランター菜園、カメラ

『みなさんこんにちは』 vol.1

町の臨時職員を紹介します



介護認定調査員
湯田 恭子(宮下)

介護保険認定調査員の湯田恭子です。介護保険を利用される方のご自宅や施設へ認定調査のため、お伺いします。併せて地域支え合い事業の受付も承りますので、お気軽にご相談ください。



管理栄養士
板橋 円(宮下)

管理栄養士の板橋円です。たくさんの方のお宅に伺い、お話をさせていただきたいと思っています。玄関先でも構いませんので、お気軽にお話を聞かせてください。どうぞよろしくお願いします。

『写団・道奥 21』写真展

～会津の自然とくらし～

○日 時

平成 30 年 5 月 27 日⑩まで

午前 9 時～午後 5 時

(最終入館 午後 4 時 30 分)

○開催場所

三島町交流センター山びこ (月曜休館)

☎ 0241-52-2165 ※入場無料

主催 三島町 三島町教育委員会

三島町交流センター山びこ



第 8 回『撮』っておきの三島町 フォトコンテスト 2018 応募作品を募集中です

・作品募集テーマ

「三島町に関すること」

・作品募集期間

平成 30 年 9 月 30 日⑩まで

・展示会場・作品応募先

三島町交流センター山びこ

〒 969-7402 福島県大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上 418

☎ 0241 (52) 2165



町長日記 (予算と幸福)

No. 34

平成30年度もスタートして1か月が過ぎました。町の最重要会議である、区長会議等において各集落の要望を受け付け、その後の地区担当職員による現地調査を行いました。しかし、限りある予算。県事業などで要望どおり予算の確保が出来ないのが現実であります。

各集落では課題解決のために知恵を絞り奮闘しているとき、行政は何か出来るのか。また、住民の皆様に寄り添うとはどのような方法があるのか。特にこの時期になると自問自答しています。しかし、よく考えると大きな自治体は予算規模が大きく、何でも出来るというイメージが先行しています。そのイメージを払拭し、「小さいからこそ輝く三島町」の誇りと自信を取り戻すことが必要でないのかと考えることもあり、それが確信になりつつあります。国連が156か国を対象に「世界幸福度ランキング」を発表し新聞報道されました。1位がフィンランド、2位がノルウェー、3位がデンマーク。上位10位には西欧諸国が多く、経済大国といわれているアメリカや中国そして日本の国民は幸福と感じておらず、「経済大国」イコール「幸福」の数式が成立していないことがわかります。

三島という小さな穴から世界を見るとき、論理的に説明することはできませんが、日本やアメリカそして中国の様々な経済的動向を見ると、経済至上主義という理念の転換期にきていると常々考えています。所得の増大や若者定住といった個別的な視点や目標も重要ですが、山村の大きな課題である雪国の生活文化の継承のために包括的な取り組みが必要と考えます。そのためには集落のコミュニティの再構築が一番重要に思われます。空き家等の再生を通して地区内への人口移動を促していくことが集落を活性化するものと考えます。コミュニティの再生は、早戸や浅岐そして宮下地区の動向から新しい時代の方向性を感じ取ることができます。そのためには同時に、産業の振興や健康増進そして教育の振興を横軸に編み、そこに交流人口の拡大を図るとき、新しい三島の文化、集落の文化を生み出す力となり、新しい山村の風土になることを荒屋敷遺跡の漆塗りの土偶は語っています。

三島町長 矢澤 源成

■発行 三島町 ■編集 三島町役場 総務課

〒 969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 350 ☎ 0241 (48) 5511

■ホームページ http://www.town.mishima.fukushima.jp

■印刷 三洋印刷株式会社